

平成 25 年度上下流交流事業

木曽青峰高校生による製作ベンチ寄贈

- 【日時及び場所】 平成 26 年 2 月 25 日（火）…名古屋城天守閣
平成 26 年 2 月 27 日（木）…木曽町観光情報センター
- 【内 容】 以下のとおり

上下流交流で木曽広域連合とつながりの深い「木曽川流域みん・みんの会」では、木曽の水やお酒、木工品などを下流域で販売し、売上の 2%を基金として積み立てていますが、その基金を活用して木曽青峰高校インテリア科生徒により製作されたベンチが、このほど上下流双方の公共施設へ寄贈されました。

木曽青峰高校インテリア科による木工品の寄贈は今回で 3 回目となり、これまで東山動物園や名古屋市科学館にベンチや木のおもちゃが寄贈されていますが、今回は名古屋城天守閣と JR 木曽福島駅前にあるバス待合室に、ベンチがそれぞれ 4 脚寄贈されました。

2 月 25 日（火）、名古屋城天守閣内にある「交流の間」で、ベンチの贈呈式が行われました。

木曽からは、木曽青峰高校インテリア科生徒 6 名のほか、宮川木曽広域連合長、腰原木曽青峰高校教頭ほか 3 名が出席、名古屋市からは、河村市長、齋藤市会議員、佐藤名古屋城総合事務所長のほか、「みん・みんの会」より河崎事務局長らが出席しました。

贈呈式では、高校生から河村市長に目録が手渡され、高校生には河村市長から感謝状が贈られました。その後、出席者全員の記念撮影が行われました。

名古屋城に寄贈されたベンチはヒノキ製で、腰になじみやすいよう座面がカーブを描き、側面には徳川家の葵紋があしらわれているのが特徴です。

2 月 27 日（木）には、JR 木曽福島駅前にある木曽町観光情報センターにおいて、ベンチの贈呈式が行われました。

木曽からは高校生 6 名のほか、古幡木曽広域連合副管理者をはじめ木曽町、木曽町観光協会などの関係者が出席、下流域からは「みん・みんの会」河崎事務局長らが出席しました。

贈呈式では、河崎事務局長より本事業の説明の後、ベンチの設置を提案した㈱21 インコーポレーションの砂山社長と高校生による除幕セレモニーにより、ベンチが披露されました。その後、木曽町観光協会から木曽青峰高校と「みん・みんの会」へ感謝状が贈られ、出席者全員の記念撮影が行われました。

観光情報センターに寄贈されたベンチは、ヒノキ製のシンプルなデザインで、2 台を連結して利用することができるようになっています。

今回の事業は、木曽川上下流交流が人的・文化的・経済的に結ばれた成果のひとつであり、寄贈されたベンチがそれぞれの場所で末永く、大切に利用されるとともに「木曽ひのき」ブランドの PR に役立ってくれることを願います。

※この事業は、長野県の「地域発 元気づくり支援金」を活用して実施しました。

1. 名古屋城天守閣 (H26.2.25)



河村市長へ目録贈呈



高校生へ感謝状贈呈



出席者による記念撮影



レーザー彫刻による葵御紋

2. 木曽町観光情報センター (H26.2.27)



河崎事務局長より事業説明



序幕によりベンチお披露目



木曽町観光協会より感謝状贈呈



出席者による記念撮影

※この事業は、長野県の「地域発 元気づくり支援金」を活用して実施しました。